



指導者になった卓球メダリスト

平野 早矢香^{さやか}さん(31)

経験伝え 応援される選手育てる

「18歳で大阪に出てきて、気がつけば14年。人と人との距離が近く、温かいこの土地が大好きになりました」。そんな第二の故郷・大阪で卓球の指導者という新たな一歩を踏み出した。

2012年ロンドン五輪で福原愛、石川佳純両選手とともに、団体銀メダルに輝いた。だが、リオデジャネイロ五輪では代表から漏れ、昨春に現役を引退。高校卒業後から所属するミキハウス（大阪府八尾市）のコーチになっ

た。「これまでに経験してきたことを伝えたい。色々な人に応援される選手を育てたいですね」

1カ月の半分くらいは全国を飛び回る。子供に卓球を教えたり、民間企業で講演したり。今、リオ五輪でもメダルを獲得した卓球はメジャースポーツとなった。「卓球の枠を超えても、認められるような人間形成が大切になると思います」と語る。

今月16日から国内最高峰の大会、全日本選手権が始まる。全日本選手権は転機になった大会という。高校1年の時にジュニアの部で優勝し、社会人1年目は一般シングルスで優勝した。

指導者になって迎える初めての全日本選手権だ。「ここでの経験が世界選手権とか五輪につながる。選手には全てをかけて挑戦してほしい」

文・大西史恭 写真・滝沢美穂子



栃木県出身。5歳から卓球を始め、仙台育英高からミキハウスに入社。全日本選手権シングルスで計5度の優勝を果たし、北京五輪は団体4位入賞。

記者から

卓球の将来について、ハキハキと熱く語る姿が印象的。多くのメダリストを育てて欲しい。